

# 守ります! Protect! 市民の安全安心



消防ヘリコプター「カワセミ」

島田市の消防救急は4月1日から、静岡地域3市2町（島田市・静岡市・牧之原市・吉田町・川根本町）の消防本部を集約し、新しい静岡市消防局として生まれ変わります。今後は広域化のスケールメリットを最大限に活用し、災害や事故の大規模化や多様化、救急需要の増加などに強い「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指します。

☎島田市消防本部 ☎37・7172

消防救急は、住民の生命と財産を災害や事故から守り、暮らしの安全安心を担う地域の要です。しかし、出動要請の増加や市民ニーズの多様化など、消防行政を取り巻く環境は大きく変化しています。特に、島田市消防本部のような管轄人口が30万人未満の小規模消防本部は、人員・財源・資機材確保の厳しさが指摘されています。

このため、国は平成18年6月に消防の広域化を推進するため「消防組織法」を改正。静岡県は平成20年3月に「静岡県消防救急広域化推進計画」を策定しました。そして平成22年2月、「中部圏域消防救急広域化連絡会議」において、3市2町の枠組みと、静岡市への委託方式で広域化することが決まりました。

静岡地域の広域化により、島田市の消防救急の対応力が低下することはありません。新しい静岡市消防局では、各市町の実情を踏まえ、現在の住民サービスや消防機能を保持しつつ、スケールメリットを生かした消防体制の充実と強化が図られます。



消防指令センターのある静岡市消防局

# 変わります! *Change!* 島田の消防救急



【静岡市消防局の管轄】



## 広域化後の 119 番通報について

2月3日から、市内の119番通報を受信する消防指令センターは静岡市消防局(駿河消防署)に切り替えられました。

## 119番通報の仕方は変わりません

3市2町で同じ名称の町名がありますので、念のため「島田市の○○町」とお知らせください。ご理解とご協力をお願いします。

【消防本部の概要】平成25年4月1日現在(職員数は条例定数)

消防本部名	構成市町	管轄人口	管轄面積	職員数
島田市消防本部	島田市	101,693人	315.88 km <sup>2</sup>	150人
	川根本町	7,967人	496.72 km <sup>2</sup>	
静岡市消防局	静岡市	719,188人	1,411.93 km <sup>2</sup>	778人
吉田町牧之原市 広域施設組合消防本部	吉田町	29,316人	20.84 km <sup>2</sup>	64人
	牧之原市(旧榛原町)	24,553人	53.36 km <sup>2</sup>	
牧之原市相良消防本部	牧之原市(旧相良町)	24,502人	58.32 km <sup>2</sup>	54人

Voice 静岡市消防局  
 消防広域化推進担当  
 荻野敏彦 理事



## 充実する人的資源

今回の広域化の主眼は、消防救急の強化です。合併には施設や人員などの縮減が伴いますが、広域化では合理化により生じた財産の有効活用が可能です。例えば、静岡市消防局の職員数は全体で1039人となり、消防署など現場に配置される人員が38人も増えます。島田消防署管内でいえば、12人の増員です。

また、管轄区域が3市2町となることで、市内外を問わず最も近い消防署から、消防車両を出動させることができます。このスケールメリットは、資機材の充足に留まりません。これまで応援要請で現場に駆けつけていた部隊は、一層の「自分事」として災害や事故に立ち向かうこととなります。広域化は、目に見えない部分でも、住民の安全安心につながるのです。



## 静岡市消防局が誇る代表的な資機材・施設

①陽圧型特殊災害対応車(NBC 災害対応車) ②拠点機能形成車(後方支援資機材積載) ③大型ブローカー車(ウォーターカッター搭載) ④大型除染システム搭載車(NBC 災害対応車) ⑤指令センター(静岡市消防局)



## 消防救急広域化 Q & A

▼消防救急の広域化は、消防体制の整備および充実を図るために行うものです。広域化によって島田市の消防救急の対応力が低下することはありません。

Q119番の掛け方は変わるの？

A2月3日から、島田市内で119番通報すると、静岡市消防局の「消防指令センター」で受信することになりました。これにより、災害情報などの広域的な一元管理が可能になり、消防隊や救急隊などが迅速かつ効率的に現場へ出動できます。通報の仕方は、これまでと変わりません。

Q島田市職員以外が、島田市の災害情報を受けて大丈夫？

A昨年10月から、6人の島田市消防本部の職員が、静岡市消防局指令課で研修を重ねてきました。今後同センターで他市町の職員と連携し、迅速な出動指令にあたります。

Q消防署所の数は減るの？

A消防救急の広域化は、消防体制の充実強化を図るために行うものであり、消防署所の配置などは、現体制を維持します。また、適正な人員配置に

より、消防力の充実に努めていきます。

Q消防団員の活動範囲は、どうなるの？

A消防団は、広域化の対象外です。これまでどおり、島田市の消防団として、地域で活動していただきます。

Qヘリコプターは必要なの？

A現在、救急車による救急搬送では、市内中山間地から島田市民病院まで、道路状況により1時間弱を要する場合もあります。その際、患者さんの身体的負担も懸念されます。一方、独自の判断で出動できる消防ヘリ「カワセミ」であれば、迅速に患者さんを搬送することが可能です。



## 災害に強い組織力

この広域化により、管轄区域の壁がなくなり、現場到着時間が短縮され、早期に効果的な活動が展開できるようになります。また、はしご車隊や水そう車隊など、それまで兼務で従事していた職員が、その役割を専属的に担うことができるようになります。さらに、消防ヘリや特殊車両の活用などにより、さまざまな災害への幅広い対応が期待されます。

このように、島田市の消防力はより「強い組織」へと進化します。この新しい消防力は、住民の皆さんの「大きな力に守られている」という安心感になるでしょう。

当本部の職員は、静岡市消防局の一員として、今までに培った経験を生かし、自信と誇りを持って、皆さんの安全安心を確保するために全力を尽くします。

Voice 島田市消防本部  
がめやまごりど  
亀山昌仁 消防長

